



HIDAMARI



# ひだまり

社会福祉法人 東京都福祉事業協会

## 目次 CONTENT

- 01 常務理事 挨拶
- 02 方南隣保館保育園
- 05 職員紹介
- 07 東日暮里サービスセンター
- 08 板橋区立母子生活支援施設

- 09 特別養護老人ホーム「赤羽北さくら荘」
- 11 保育士の大先輩 矢嶋圭子先生
- 12 HISTORY『東京都福祉事業協会75年史』から
- 13 協会からのお知らせ
- 14 地域包括支援センター・計報

VOL  
03

# ごあいさつ

皆さま、明けましておめでとうございます。

今年は自粛を求められたお正月となりましたが、少しうっくり過ごすことができましたでしょうか。また、協会の施設には24時間・365日の運営を行っている施設もあります。年末年始に勤務された方は大変おつかれさまでした。

さて、国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されたのは昨年（令和2年）1月です。その後、またたく間に感染が拡大してきました。同年4月にピーク（第1波）を迎えたこの感染症は、新型ウイルスのため医療機関や保健所の対応が追い付かず、政府による「緊急事態宣言」が発令され、社会を挙げて感染防止対策に取り組むこととなりました。

協会が運営している高齢者や乳幼児などへのサービス・支援は、社会生活上必要不可欠なものであり、感染防止対策を徹底して行いながら事業を継続し、社会的使命をしっかりと果していくとの基本方針を田中理事長から各施設に示されました。

これを受けて、各施設ではこれまで類似の感染症防止対策に取り組んできた経験を生かし、当初から徹底した衛生管理対策に取り組んでいただきました。また水際対策として、行事や式典などを縮小あるいは中止をして事業継続を行ってきました。

高齢者施設では、特別に事情のある場合を除いて面会を中止し、外部からの感染防止に取り組みました。

保育園について、区市の指導を受け臨時休園や登園自粛といった事業の規模縮小も行いました。知り得る限り初めての出来事ではないかと思います。

母子生活支援施設、高齢者福祉施設では、新規入所を一時中断する措置も行いました。

また、職員の皆様には、体調不良の場合の特別休暇の措置を実施することとして今まで継続しております。

昨年11月からの第3波は、それまでの第1波（4～5月）及び第2波（7～8月）に比べ感染者の増加が著しく、特に12月に入ってからは感染者数の最大値を更新する日々が続きました。

こうした状況を踏まえ、万一、施設内でコロナ感染症が発生した場合の協会内の支援体制を整えています。母子生活支援施設については、協会3施設間の相互支援を基本としています。

また、特養については、協会2特養間の相互支援を基本としつつ、近隣のデイサービスセンターからの支援も行うこととしています。

なお、現在東京都は都内特養の広域的な職員派遣の

社会福祉法人  
東京都福祉事業協会  
常務理事 本田 章博



構築に向けて取り組んでおり、支援体制が大きく前進するものと考えています。

今年は協会設立104年目を迎えますが、1917年（大正7年）設立当初の先輩方は、スペイン風邪、台風水害、米騒動、さらに1923年（大正12年）9月1日の関東大震災という大変な試練を乗り越えました。一歩一歩地道な努力を積み重ねられ今日の協会に繋がってきていると考えますと、先輩方にならいしっかりと感染防止対策に取り組んでいかなければならない気持ちを新たにします。

協会の職員の皆さん、感染防止対策の詳細な行政通知にもその都度しっかりと対処していただいており、皆さんの努力に対し改めて厚く感謝申し上げます。

今後も、感染の早期発見（体調不良等の職員の有給による特別休暇の措置等）を徹底し、2次感染やクラスターが発生しないよう、細心の注意をもって施設運営を行ってまいりたいと存じますので、ご協力方よろしくお願ひいたします。

拡大一途のコロナ感染症ですが、昨年12月には新型コロナウイルスワクチンの接種が欧米でスタートしました。国内でも高齢者等を優先する法律も施行され、今年2月頃から接種が始まる方針です。また、無症状の陽性者が多いことを踏まえ検査体制の改善も図っていく方針も出ています。未知のウイルスへの心配や不安が、いくらかでも軽減されるのではないかと期待しています。

協会は、まだまだ発展途上であり、課題は山積しています。現在の最重点課題は何と言っても新型コロナウイルス感染症への感染防止対策ですが、この他にも施設の中長期的な観点からの経営健全化や、人材確保も引き続き重要です。若い世代の採用という大きな課題もあります。

この他には長期的ビジョンを含め、災害対策・危機管理、職員待遇改善、施設の改築整備、新たな地域貢献、業務改善のためのIT化や介護ロボットの導入等々があり、一つひとつにしっかりと取り組み、皆さんとともに歩んでまいりたく考えております。

職員の皆さんにおかれましては、まず健康第一で今年一年よろしくお願ひいたします。

杉並区方南から、  
みんなに、  
エールを。

## 方南隣保館 保育園

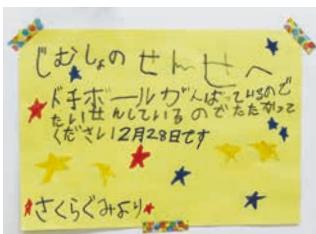


### 一人ひとりの やりたい気持ちを叶える保育園

▲週1回の体育指導でドッヂボール大会の練習をする5歳児クラス

杉並の住宅街にありながら、広い園庭と新しい園舎を持つ、  
恵まれた環境の方南隣保館保育園。  
開園は1925年とその歴史は古く、地域とともに、歩んできました。  
子どもと職員共にやりたい気持ちを引き出し、育む、  
大らかな保育園を訪ねました。

▼担任てづくりの  
ネコ大将のマスコット



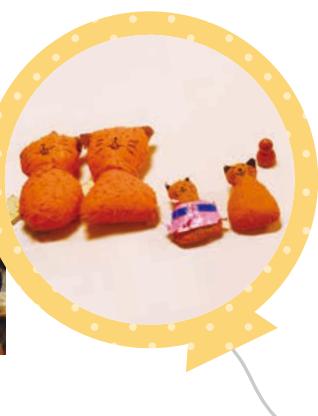
▲ドッヂボール大会に向けて、年長クラスから職員に対する挑戦状が届いた



▲広い園庭で砂場遊びを楽しむ園児たち



▲職員の希望で設けられたランチルーム



### 子どもも職員も 自主性を大切にする

5年前に建て替えた新しい園舎には広い園庭があり、子どもたちが思い思いに遊んでいます。園長の吉田まゆみ先生に園内を案内してもらいました。

「どんな保育園にしたいですか」と建て替え時に設計者から尋ねられ、職員たちがまとめた希望は50項目にも上ったそう。そのひとつにランチルームがあります。それまでは各クラスでそのまま給食を食べていたので、ブロックや積み木などのおもちゃを遊びの途中で

片付けなければなりませんでした。そのため、遊ぶ部屋とは別にランチルームを設けてもらったのです。「子どもの遊びを保証するということを大切にしています。“ねばならない”と集団行動を促すではなくて、一人ひとりの個性を受け止めて、大事にする。その子らしく成長するにはどうすれば良いかを考えています」。

子どもたちの遊びに関する素敵なエピソードを教えてもらいました。「子どもたちが“ねこ大将”と呼んで大切にしているボードゲームのコマがあったので、お泊まり保育の時にねこ大将をテーマに

した探検ごっこを企画しました。最後に担任がフェルトでつくったネコのマスコットを一人ひとりにプレゼント。子どもたちは洋服をつくりたり、おままごとで遊んだりして、とても気に入っていたので、今度は発表会のオリジナル劇にも展開したのです」。

子どもたちの発信していることをキャッチするのが上手な先生が多いと園長先生。「やりたい」という気持ちを受け止めてもらえる土壤があるからこそ、子どもたちも安心して自分の思いを表現し、職員も一緒にになって楽しむ様子が伺えます。

## 地域と関わりが 子どもたちを見守る

方南隣保館保育園のもうひとつの特徴は、長い歴史の中で培ってきた地域とのつながりです。卒園した小学生たちが集う「つくしんぼの会」があって、夕涼み、観劇会、ドッヂボール大会などの多彩なイベントに招待します。卒園してからも保育園に遊びに来る子どもも多く、卒園生が保育実習をしたり、保育士となって就職することもあるほど。

他にも、地域の未就学児に園を開放する「りんりんひろば」を毎週開催。また、近隣の福祉作業所「あすなろ作業所」がパンの出張販売に訪れます。長年、この地に根差し歩んで来たからこそ、地域とのつながりを大切にしています。

## 工夫しながらコロナ対策を

しかし、今年はコロナの影響でこうした地域交流もできない状況が続いています。「つくしんぼの会」は中止になり、代わりに卒園生一人ひとりに「落ち着いたら遊びに来てね」とハガキを書きました。「りんりんひろば」も休止しているので、子どもに向かわれるストレスが気がかりだと園長先生は言います。

園ではコロナ対策として、登園の際の検温、アルコール消毒、園内やおもちゃの消毒、パーテーションを介しての給食、イベントの簡略化や規模縮小など、考えられる様々な対応を続けています。今不安なのは、職員が常にマスク着用のため、今年入園した子どもはマスク越しの顔しか知らないこ

と。通常のコミュニケーションやスキンシップもなかなかできない状況で、心配になることがあると言います。

それでも子どもたちは柔軟で、手洗いも習慣づき、子ども同士が確認し合っているそう。保護者も子どもの体調が悪い時は無理をさせないなど、協力的な体制が築けていることはありがたいと話して頂きました。

体験したことがない状況の中、毎日手探りで対処する日々ですが、そんな中でも子どもたちはすくすく育っています。早くマスクなしで笑いあえる日が来ると良いですね。



## 子育てしながら 働くことに理解がある職場です

いつき  
保育士 清水 齊さん

勤続27年目です。子育てをしながら働くことに理解がある職場で、時短勤務や子どもの学校行事へも参加できるよう、柔軟に対応してもらえるので助かっています。保育では、どうしたら子どもたちが楽しいかを考えています。職員同士で園児の情報共有をしたり、伸ばしていきたい点を気軽に話し合ったりもできる環境です。仕事を持つ母親の大変さを共感できるようになったことも保育者として大きいですね



## うれしかったのは 園児が初めて名前を呼んでくれたとき

みり  
保育士 林 実里さん

就職して1年目の新人です。保育見学に来た時に園長先生から良い面も悪い面も両方を話して頂けたこと、キャリアの長い職員が多いこと、温かな雰囲気が就職の決め手となりました。思い描いていた通りの職場で選んで良かったです。うれしかったのは、初めて園児が名前を覚えて呼んでくれた時。この子たちのためにできることは何かと考えようになりました。子どもと対等な存在で歌うように保育をする先生がいるのですが、私もいつかそんな保育者になりたいです。



## 吉田園長お気に入り絵本

### 『日本名作絵本』 『世界名作絵本』 (TBSブリタニカ)

特装版で絵や装丁も美しい日本と世界の名作絵本。読み聞かせの時はこの中から選ぶことが多いです。園舎が新築されてから、5年かけて良質な本やおもちゃをコツコツ集めました。



## 方南隣保館保育園がある街 いろいろな表情を見てくれる代田橋と笹塚



東京の大動脈、環状7号線（通称：環7）と甲州街道に近く、新宿副都心の高層ビルを近くに望みながらも、どこか懐かしい”昭和“の香りが漂う街に方南隣保館保育園があります。最寄駅の京王線代田橋駅をスタートして、少し街歩きを楽しんでみました。この駅に降り立つのは初めて。飲み屋さんなど、小さな店がひしめく駅前はまさに昭和、というよりも「戦後」と言つた方が良いかも知れない雰囲気です。その狭い路地を抜けると甲州街道の大きな通りにぶつか

ります。そこから歩いて5分程の保育園を左手に見て、もうひとつ最も駅、笹塚に向かいました。

駅前は代田橋と打って変わってとても賑やか。おしゃれなお店が軒を並べています。一方、駅を背にして甲州街道を渡ると、目の前に「十号通り商店街」と書かれたアーチが見えました。一歩足を踏み入れると、そこは

昭和の時代にタイムスリップしてしまったような商店街。地元の人たちに長く愛されてきた街の顔“なのだと”思います。



▲十号通り商店街

**職員おすすめのお店**  
来夢来人（喫茶店）  
蒼凜（そば屋）  
ダイヤモンド（ケーキ屋）など

方南隣保館保育園のある街は気取りがなく、どこか親しみのもてる表情を見せてくれました。一度歩いてみませんか。職員おすすめのお店を訪ねながら…。

Daitabashi & Sasazuka •

### 方南隣保館保育園の基本情報

〒168-0062 東京都杉並区方南1-4-7 TEL 03-3321-4815 京王線代田橋駅より徒歩7分



Staff introduction  
職員紹介

# 頼りになります。

## 王子隣保館保育園

保育士  
**近藤 春紀**



- ①いちご、えび、やきそば
- ②ホルンを吹くこと
- ③鳥、心霊現象(靈感はないですが)
- ④無理はしない
- ⑤エルマーの冒險シリーズ
- ⑥買物をしたり、ダラダラすること
- ⑦3歳の時に入園した王子隣保館  
保育園で働いていること

## 方南隣保館保育園

保育士  
**林 実里**



- ①お寿司(特にいくらと貝類)
- ②料理(同じ食材で何種類作れるか挑戦中)
- ③小さいころからナツツが苦手。  
大人になっても食べられない。
- ④「自分の心にまっすぐ正直に」:大学時代  
の恩師の言葉で今も私の力になっている
- ⑤『かわいそうなぞう』:戦争を忘れて  
はいけないことを教えてくれる
- ⑥休日に友達と出かけること
- ⑦双子の姉と落ち込む時やうまくい  
かないタイミングが合うこと

## 尾久隣保館保育園

保育士  
**岸 佑梨**



- ①焼肉、ラーメン、果物
- ②買物
- ③ジェットコースターなどの絶叫  
マシーン
- ④特になし
- ⑤バムケロシリーズ、『鬼滅の刃』
- ⑥ゆっくりお風呂に入ることと  
好きな洋服屋さんでお買物
- ⑦特になし

## 八王子隣保館保育園

保育士  
**堀田 景子**



- ①ハンバーグ、いちごのタルト
- ②家族でキャンプ
- ③電化製品の取り扱い説明書
- ④笑顔、前向き、ありがとう
- ⑤『バムとケロのそらのたび』
- ⑥散歩、ジョギング
- ⑦40歳過ぎて初めてマラソンの駅伝  
に挑戦すること

## 汐入とちのき保育園

看護師  
**落合 紋花**



- ①桃、さくらんぼ
- ②カメラ、ジグソーパズル
- ③絶叫系、ホラー
- ④一日一笑
- ⑤いもとようこの絵本
- ⑥歩くこと
- ⑦小学校の6年間、  
運動会の徒競走で1位だったこと

## 上十条南保育園

保育士  
**吉田 星**



- ①お肉
- ②ショッピング
- ③虫
- ④「笑う門には福来る」
- ⑤『てんとうむしのてんてんちゃん』
- ⑥海に行く
- ⑦何でも“美味しい”と  
食べられること

## 赤羽北のぞみ保育園

保育士  
**加藤 あかり**



- ①焼肉
- ②高校野球観戦
- ③ピクルス
- ④「人のために火を灯せば、我が前  
あきらかなるが如し」
- ⑤『お前ならできる』
- ⑥友達と食事に行く
- ⑦協会新年会の日が自分の誕生日  
だったこと

## ハイツ尾竹

少年指導員  
**鈴木 遥菜**



- ①オムライス、辛い食べ物
- ②音楽を聞くこと、ライブに行くこと
- ③苦い食べ物
- ④「夢を見るだけでなく、どのように  
実現させるかを考える」
- ⑤『花より男子』  
『HUNTER×HUNTER』など  
少年・少女マンガ全般
- ⑥カラオケ、お酒を飲むこと
- ⑦人気店に大抵は並ばずに入れること

- ①好きな食べ物
- ②趣味、特技
- ③苦手なもの
- ④モットー、好きな言葉
- ⑤お薦めの絵本、小説、漫画等
- ⑥心身リフレッシュ術
- ⑦ちょっと自慢したいこと





# 頼りにします。

## 浮間ハイマート

少年指導員  
**高梨 友敬**



- ①ラーメン、つけ麺、カレー
- ②フットサル、サッカーをする&観戦
- ③絶叫マシーン
- ④「言葉というものは尽きることのない魔法の源じや。人を傷つけもすれば癒しもある力がある」  
(アルバス・ダンブルドア)
- ⑤『ドラゴン桜』『Good Luck』
- ⑥フットサルをする、友達と会う、  
アマゾンプライムを見る
- ⑦誰からも「いじられる」こと

## 板橋区立母子生活支援施設

少年指導員  
**神山 翼**



- ①ラーメン
- ②音楽を聞くこと
- ③ホラー映画
- ④おもいやり、仲良く
- ⑤『リンゴかもしれない』  
ヨシタケシンスケ
- ⑥銭湯やサウナに行く
- ⑦キャラクターが好きなので、施設の  
子どもたちがキャラクター情報を  
教えてくれること

## 長寿園

介護職員  
**森田 勝**



- ①お肉
- ②バレーボール
- ③大葉、春菊
- ④なんとかなる
- ⑤なし
- ⑥食べ歩き
- ⑦くじ運がよく、夜店の三角くじで  
1番を引いたこと



参与・事務局長  
**秋山 寛**

は、私にとって非常に縁がある場所です。父方の祖母(明治31年生)が育ったのが、現在の北区中十条、祖父母が結婚して居を構えたのが当時の瀧野川町大字西ヶ原です。父はそこで産声をあげています。その後、祖父母は、茨城へ移り、私は4歳の時から高校卒業まで、祖父母の住む茨城で一緒に暮らしておりました。年

①こし餡のあんぱん ②自動車レースのTV観戦 ③パクチー、セロリ ④? ⑤絵本「ピヨちゃん」シリーズ、「みどりのくまとあかいくま」シリーズ(ほか。実は、表記絵本の作家(いりやまさとし氏)は、私の従妹(2018逝去)の旦那様なのです。)⑥車窓から風景を眺めること、街歩き ⑦十条駅から歩き始めたおかげか、ズボンのウエストがほんの少しだけ緩くなりました。

今回の職員紹介はそれぞれの職場で頼りにされている“中堅”的皆さんをご紹介します。経験も豊富。頼りにします、コロナ対策。

## 赤羽北さくら荘

介護職員  
**田口まい**



- ①チョコレート
- ②映画鑑賞、バトミントン
- ③パクチー
- ④「人の落ち度は許すより、  
忘れてしまえ」
- ⑤小説『夏と花火と私の死体』
- ⑥カラオケ
- ⑦可愛い犬が家にいること

## 東日暮里サービスセンター

児童支援員  
**大河原 大季**



- ①ラーメン
- ②イラスト、ボードゲーム作成
- ③犬
- ④「気にしない」
- ⑤『最終兵器彼女』『七つの大罪』  
(漫画)
- ⑥ゲームアプリに没頭する
- ⑦自室にある漫画の数  
(約1000冊ほど)

## サービスセンター長沼

介護職員  
**関谷 岳裕**



- ①お寿司(特にまぐろ、サーモン)
- ②野球観戦(西武ファン)、  
温泉に行くこと
- ③おばけ、らっきょう
- ④利用者に1日1回笑ってもらうこと
- ⑤ドラえもん
- ⑥友人と食事やバッティングセンター  
に出かける
- ⑦小学校、中学校の時に元プロ野球  
選手を輩出した野球チームに所属したこと、大型2種免許を持っていること

## 新任のごあいさつ

### 「仕事は、現場を肌で感じることから」をモットーに。

年を越えてのご挨拶となりましたが、令和2年4月1日に、下道事務局長の後任として着任しました秋山寛(ゆたか)です。よろしくお願ひいたします。

私の職務経歴や仕事への思い等は別の機会に譲りまして、法人本部がある北区王子界隈は、私にとって非常に縁がある場所です。父方の祖母(明治31年生)が育ったのが、現在の北区中十条、祖父母が結婚して居を構えたのが当時の瀧野川町大字西ヶ原です。父はそこで産声をあげています。その後、祖父母は、茨城へ移り、私は4歳の時から高校卒業まで、祖父母の住む茨城で一緒に暮らしておりました。年

に1度は、祖母に連れて中十条を訪れ、十条銀座や飛鳥山などに行ったものです。現在、感染対策もありますが雨の日以外は、池袋駅からJR埼京線(昔は黄色の電車で、名称は赤羽線)に乗って十条駅で降り、自衛隊の前を通り、新幹線やJR(たまに、東武の特急も)の電車を眺めたり、王子稻荷や王子神社などの歴史を感じたりしながら法人本部まで歩いています。このルートは三密がなく、何よりも朝夕歩くと1万歩を超えて健康的です。

新型コロナウイルス感染症対応のため、なかなか保育園・施設・事業所等に赴くことが出来ないのが悩みです。「仕事は、現場を肌で感じることから」が私のポリシーなので、早く皆さん方と新型コロナウイルス感染症を乗り越えて、ゆっくりお会いできることを楽しみしています。



## 東日暮里サービスセンター

# 当たり前のこと、当たり前に行うことの大変さ。 支えているのは職員の頑張りです。

コロナ禍で地域の福祉はどうなっているのだろうか。中でもご利用者、ご家族の日常を支えるデイサービスの果たす役割は大きいに違いありません。

通常どおりに事業継続することをいち早く宣言した

「東日暮里サービスセンター」でコロナ対策のあり方を聞きました。

ゆったりとした2階のフロアーから賑やかな声が聞こえてきました。丁度、午後のレクリエーションの時間が難しそうな漢字の読み方に挑戦しています。中には百歳を超える方も…。ここは荒川区東日暮里にある高齢者のデイサービス施設「東日暮里サービスセンター」です。一般デイと認知症デイを合わせて89名のご高齢者が通う、いわば「地域福祉の拠点」と言われる存在となっています。

ここ東日暮里サービスセンターは常磐線の三河島駅に近く、下町人情の厚い街にしっかりと根を下ろしています。大関施設長は町会長さんたちとは顔見知りの仲であり、お祭りの時にはお神輿も立ち寄つて、揉んしてくれる。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になつたものの、毎年独自に「地域福祉まつり」を開催しています。施設見学を始めいつも提供し

### 強い使命感が支える



▲賑やかで楽しそうなデイサービス  
ご利用者から「来てよかったです」と言つていただけた。「今日は楽しかった」と言つていただけた」と言つていただけた。お年寄りの「元気」を支えるスタッフとワンチームで、強い使命感を持つて地

### 地域とつながり理解を深める

新型コロナウイルスの感染拡大対策は素早く、確実に実施しました。緊急事態宣言が発せられたその日にアルコール消毒をこれまで以上に徹底。ご利用者、ご家族に向けても感染対策徹底の「お願い」を発送し、体調管理とご利用者のマスク着用などをお願いしました。幸い、職員が使うマスクに事欠くこともなかつたのは、日ごろからの備えが功を奏したのでしょうか。

緊急事態宣言が出る直前、荒川区からサービスセンターにこんな話がありました。「特別養護老人ホームのような施設の閉鎖は困るけれど、デイサービスのような通所施設は自由に休業しても構いません」と。しかし、デイサービスはご利用者にとってもご家族にとっても無くてはならない

ている食事の試食会、あん摩マツサージ指圧師による施術サービスやカラオケなど、地域の人たちに施設の「有りのまま」を体験してもらいたいながら、デイサービスに対する理解を深めています。

### 求められる意識の高さ

コロナ禍の中で必要とされるのは職員の意識の高さです。職員の大出恭生副主任は「介護職員であれば自己管理をするのは当たり前」であり、「コロナ禍だからではなく、日頃から環境衛生の大切さを意識しなければならない」と言います。最後に大関施設長のひと言が心に残りました。「いちばん頑張っているのは職員です」。当たり前のこと、当り前にすることの大変さ、大きさを感じました。



▲生活相談員 齊藤泉さん 大関施設長 大出さん

できません。東日暮里サービスセンターではケアマネジャーが所属する居宅介護支援事業所にて「緊急事態宣言における事業継続に関するお知らせ」を発送して、衛生管理を徹底しながら通常どおり事業を行う旨を、いち早く明確にし、現在に至っています。

コロナ禍の中での必要とされるマツサージ指圧師による施術サービスやカラオケなど、地域の人たちに施設の「有りのまま」を体験してもらいたいながら、デイサービスに対する理解を深めています。



## 2年後、5年後の 「ありがとう」に向けて。

### 母子生活支援施設としてできること

板橋区立母子生活支援施設はさまざまな事情を抱えた母と子が、それぞれの課題を整理して自立に向かえるように支援する児童福祉施設です。かつて「母子寮」と呼ばれていました。「入居する母親は人間関係が得意でない方もおり、そのために必要な支援を受けられなかった人も多い」と、主任母子支援員の平山紀子さん。母子支援員であり心理担当も担う田中莉菜さんは「ひとり親になったことで、自分がやらなければ、という気持ちが強い人が多いのでは」と言います。「周りに頼って子育てをしてもいいんだ」ということが分かれば地域と繋がることができるはずだと…。そのために施設として何ができるのか。

### 全ての職員がオールマイティで支える

板橋区立母子生活支援施設の定員は20世帯です。支えているのは12名の職員と1名の嘱託医。業務上では、主に子どもを見る職員とお母さんに寄り添う職員に分かれていますが、厳密に線引きをすることは不可能だとのことです。全職員が子どもにもお母さんにも“オールマイティ”に対応しています。「その分、職員と利用者さんが近い関係になる」と、平

山さん。本音や心からの“思い”を聞かない限り、関係性は築けない。しかし、全て頼られてしまっては自立に向けた支援の意味がなくなってしまいます。本人が決めたことであれば「応援する」し「出来る方法を一緒に考える」。これが基本的なスタンスだと思います。時には「ぶつかる」ともあるとか。24時間、365日、支えることの大変さを、「職員はいつも利用者さんと一緒に“バタバタ”しています」と、こともなげに明るく語る。

### やりがいを感じる 2年後、5年後の 「ありがとう」

主任の平山さん。最初は子どもへの支援に興味がありました。母親がキーパーソンだと気付いて母子支援の世界へ。間もなく20年になるということです。大学を卒業して4年目の田中さんも母と子の関係性に関心を持ったことからこの道に進みました。この仕事の“やりがい”はどこにあるのだろうか。

「今日やったことが、今日、結果が出るわけではない母子支援の仕事です。決められた2年間で施設を退所した後、2年後、5年後に再会した時に言ってくれる『あの時はありがとう』が何よりもうれしい」と、2人は声を揃える。自分が見てきた子どもたちが「親」になって帰ってくる時

▲(前列左から)  
田中支援員 大澤施設長 梅澤用務員 神山指導員  
(後列左から)  
井出指導員 平山主任 丹羽指導員

もあるとか。そんな時にこの仕事に“やりがい”を感じると言います。「退所したあともどうフォローするか」が大切だと、昨年赴任した大澤宣仁施設長も強調する。「ここには里帰りのつもりで、いつでも帰ってきてほしい」と。

### コロナ禍でも何より求められる日常生活の“継続”

母子生活支援施設は生活の場です。1日たりとも動きを止めることはできません。もちろんコロナ禍でも職員は休めない。また「継続が大事」だと、平山さん。いつも実施している『夏祭り』などの事業は、小規模化したり三密対策を講じたりしながら、可能な限り継続して実施することにしました。親子で行事を楽しむ様子が見られたり、「地域のお祭りが軒並み中止となっていたので、夏の思い出が出来てよかったです」という感想も多く、良い反応があったようです。

職員の頑張りに大澤施設長も「感謝しました。とにかく責任感が強い、逆境になればなるほどがんばる。それがこここの職員です」と熱く語る。これからも、母子生活支援施設の草分け的存在だということを誇りに、母子の自立に向けて寄り添ってほしい。



## 特別養護老人ホーム「赤羽北さくら荘」

# コロナウイルスに負けない。 強い気持ちでご利用者を守る職員たち。



新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。  
日を追って感染者が増え続いている中で、  
その最前線に立つ『赤羽北さくら荘』の介護職員たち。  
「コロナウイルスに負けない」と、  
強い気持ちでご利用者の“日常”を守っています

### ウイルスを持ち込まない

ウイルスの感染拡大は誰もが経験したことのない事態です。『赤羽北さくら荘』も対応は全てが手探りだったと統括介護主任の大塚博美さんは言います。どのような対策を講じればいいのか。必要なものは何かなど、他の部署の職員も含めて徹底的に話し合ったということです。

「ウイルスを施設内に入れない、持ち込まない」ことが、介護施設にとって最も重要です。そのため、病院などでも使われている防護服についての着脱練習を行いました。また、「手洗い教育ツール（ローションを汚れに見立て、手洗い後に専用ライトの下に手をかざすと洗い残しが光り適切かどうかを確認）」を購入して手洗いの基本方法も改めて学びました。

緊急事態宣言を契機に品薄となったマスクやアルコール。価格もアッという間に高騰しました。しかし、どれもご利用者や職員を感染から守るために欠かせないものばかり。「価格が高いから」と躊躇は出来ない。施設トップの強い指示のもと、感染予防への備えに万全を期すため、いろいろ手を尽くして必要な感染対策用品を用意しました。

アルコール消毒の設置場所もエレベーターの中を含めて10数か所に増やしました。職員は出勤前に体温を測り、職員食堂の定員を半分に減らして会話を控え、出勤では公共交通機関を避けて自転車やバイクに変えた職員もいます。

「“ウイルスを入れない”は職員全員の思いですが、各職員の協力があって今に至っている」と大塚博美



▲大塚さんと杵島さん

統括介護主任は話していました。

### 日常生活の継続を心掛けて

ウイルスの感染拡大はご利用者にも大きな不安とストレスをもたらしました。家族と面会ができないばかりか、外に出かけることもできませんから、予防と合わせて職員が最も心を碎いたのは、ご利用者の“心のケア”です。そのために心掛けたのは、感染予防対策をしたうえでこれまで通りの日常を継続すること。恒例の「さくらフェスタ」の中止や敬老会の縮小は余儀なくされたものの、誕生会や忘年会、お菓子作りなどの“お楽しみ”は出来るだけ通常通りに行いました。各ユニットでは久しぶりの「お鍋」も好評だったとか。レクリエーション担当職員によるサックス

演奏や体操・ゲームも、三密を避けながら続けられています。ご利用者が少しでも和める時間を増やすこと、それが職員共通の悩みです。

## ご利用者とご家族をつなぐ 心配り

職員が気がかりなことのひとつは、ご利用者とご家族が思うように会えないこと。リモートによる面会にせざるを得ないのが現状です。ご

利用者の日常風景を写した写真を添えてメッセージカードをご家族に送ったり、電話を取り次いだり。職員の細やかな気遣いが求められます。「ご家族から利用者、ご利用者から家族へお手紙をお預かりして、それをお届けすることもあります。また、看取り対応を行っているご利用者には、リモート面会ではなく短時間でも直接ご家族とお会いしていただく時間を作っています」と介護主任の杵島聖文さん。生活の場とし

ての特別養護老人ホームだからこそ必要とされる心配りです。

今のところ、まだまだ出口が見えないコロナ禍です。予防の最前線に立つ『赤羽北さくら荘』の職員は、これからも気の抜けない時間が続きます。「コロナウイルスに負けない」をここに止め、大出正子施設長を中心に行なった「ワントーム」で乗り切ってほしい。そして、何よりも自らを大切にしながら…。

## WITH あの職場に、こんな人、あんな人



▲コルカタの風景

月間、タイからおおよそ10数年。一貫して特別養護老人ホームに勤務していますが、ある時、ふと「自分を見つめ直してみたくなつた」と言います。バックパッカーをした経験のある友人の話を聞いた岩崎さんの決断は早かつた。2011年3月、それまでためたお金を持ち、日本を離れます。それから2012年7月までの1年4か月間、タイか

らミャンマー、ラオス、中国、インド、バングラデッシュ、ネパール、そしてヨーロッパ、アメリカへ。34か国を巡りました。その間、一度たりとも日本に帰らなくともあります。が、何よりも「人の役に立ったかった」。それからおよそ10数年。

岩崎さんは旅の途中、インド第3の都市、コルカタにある『マザー・ハウス』でボランティアをします。あのマザー・テレサが活動の拠点とした施設です。ボランティアに登録して高齢、貧困、歳未満の孤児などの家を周り様々な仕事を行いました。印度では「衛生面が劣悪だった」ことが強く印象に残っている。

30代初めに経験した、『旅』は福祉の仕事にどう生きているのだろうか。何よりも「日本の暮らしやすさが再確認できた」と言います。衛生面はもちろん安全面、制度に至るまで。そして、マザーハウスでは人を支えることの意味、大きさを肌で感じました。

とにかく活動的な岩崎さん。15年間乗っているという1000CCの大型バイク、ハーレーダビットソンを駆ってのツーリングが何よりの楽しみだとか。北海道一周もクリアしたらしい。ヒップホップやロックにも目がない。これからも元気

## 世界で感じたことを 福祉に生かしたい。

今回のWITHは、少しユニークな職員を紹介します。タイを基点にアメリカまで1年4か月にわたって「バックパッカー」をした『赤羽北さくら荘』のユニットリーダー、岩崎隆一さんです。ちょっとやらやましい経験ですが、「なぜ、世界一周に」と思いませんか。

岩崎さんが福祉の世界に飛び込んだのは、来るべき高齢社会を見すえたこともあります。が、何よりも「人の役に立ったかった」。それからおよそ10数年。

岩崎さんは旅の途中、インド第3の都市、コルカタにある『マザー・ハウス』でボランティアをします。あのマザー・テレサが活動の拠点とした施設です。ボランティアに登録して高齢、貧困、歳未満の孤児などの家を周り様々な仕事を行いました。印度では「衛生面が劣悪だった」ことが強く印象に残っている。

とにかく活動的な岩崎さん。15年間乗っているという1000CCの大型バイク、ハーレーダビットソンを駆ってのツーリングが何よりの楽しみだとか。北海道一周もクリアしたらしい。ヒップホップやロックにも目がない。これからも元気



赤羽北さくら荘  
ユニットリーダー・介護福祉士  
岩崎 隆一さん



▲ネパールにて

# お元気ですか

## 子どもたち、保育士に向けるまなざしが優しい。

王子隣保館保育園は1924年(大正13年)の開設ですから、

今年で97年目を迎えることになります。

その間、どれだけ多くの子どもたちがここから社会に巣立って行ったのでしょうか。

この長い歴史の積み重ねは、子供たちの成長を見守る保育士の方々の力があってこそ。

今回の『お元気ですか』は保育士、園長として、そして現在も評議員として40数年にわたって王子隣保館保育園を支えていただいている矢嶋圭子先生をご紹介します。

保育園はどう変わったのか。保育士として子どもたちにどう向きあえばいいのか。

言葉のひとつひとつを心に刻んでおきたいと思います。

### 忙しかった保育士時代 何から何まで一人で

矢嶋先生が保育士になられたのはご結婚された後とのことです。子どもが大きかった。一生の仕事も持ちたかった。保育士を養成する学校を出ていない先生は直接「保育士国家試験」にチャレンジし、見事に合格します。当時の園長に誘われて尾久隣保館保育園で保育士としての仕事をスタートさせますが、自宅から遠かったこともあって、「産休代替」として王子隣保館保育園に入職しました。それから王子一筋に30年。

当時の保育士は掃除から日誌の記入、日案、月案、年間計画まで、何から何まで一人でこなしていたとのこと。今でいうケース記録、「児童票」も家

に持ち帰って書いていた。とにかく仕事量が多くて、そのせいで「あまり手をかけてあげられなかったので、子どもたちが可哀そうだった」と思うこともあります。しかし、そのぶん子どもたちは「自由」だったのではないか、と。

### 「働きたい」という 気持ちを支える

長く保育士を続けられた原動力は何だったのでしょうか。何よりも、子どもたちが卒園後に園に寄ってくれることがうれしかった。「お母さんが出た保育園よ」と、自分の子供を連れてきた卒園児もいる。バザーなど園の行事の時はまるで“同窓会”的な印象です。それも、長く勤めたからこそ味わえる喜びです、と矢嶋先生。

ある会合で中学校の校長がこう言いました。「0才から子どもを保育園に預けるのは反対」だと。その時先生は「預けなければならない事情がある人はどうすればいいのか」と反論します。経済的だけではなく「仕事を辞めたくない」というお母さんも多かったです。女性としての“生き方”を貫きたいと。当時から仕事に誇りを持つお母さんが多かったようです。働きたいと

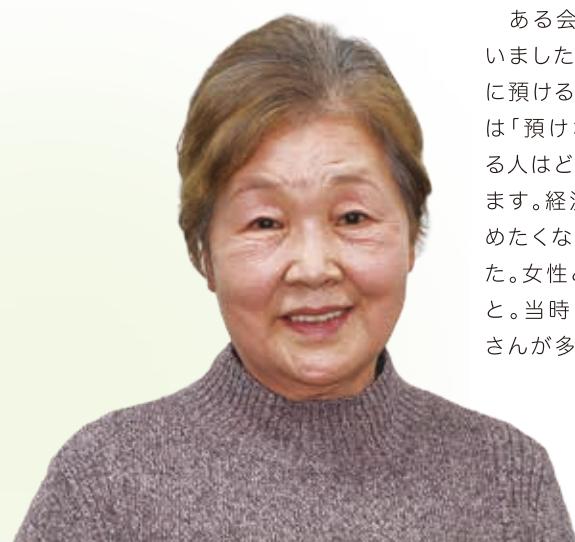
いう気持ちを支えること。これが保育園であり保育士の「使命」だと矢嶋先生は言います。自身も保育士として「自分の仕事を全うしたかった」と。

### 保育士という仕事に 生きがいと誇りを

先生が保育士の仕事として一番大事にしていたことは、「朝お預かりした姿で、夕方お返しすること」です。怪我がないように子どもたちを無事に返すこと。そこに保育士としての誇りとプライドを感じていたと言います。

保育士という仕事に「生きがい」と「誇り」を持ってほしいと語る矢嶋先生。今、王子には先生の教え子が2名、保育士として働いていますが、できるだけ長く勤めてくれることを願っている。「だんだん面白くなっていくのが保育士の仕事だから」と。

矢嶋先生は今年81歳になります。朝、新聞を読み、散歩で8千歩を歩き、好きなものを作って食べる。これが何よりの健康法だとか。子どもたちからエネルギーをもらうから保育士は“長生き”だとのこと。これからもお元気で、保育士にエールを送り続けていただきたいと思います。



保育士の大先輩  
矢嶋 圭子先生

## 困窮する市民生活が 社会問題となった大正時代。 協会が開設した米の廉価販売所と 公設質屋が一筋の光となった。

### 市民を苦しめた米価の暴騰 東京府(当時)の委託を受けて 米の廉価販売所を開設

第一次世界大戦(大正3~7年、1914~1918)は、主にヨーロッパが戦地となり、日本はその需要で好景気が続き、これに伴い物価が上昇し米の価格も急騰したため、経済的困窮者への救済が急務となりました。

東京府(現在の東京都)と協会が共同して、白米廉売事業(米を安価で供給する)を実施したのは大正6年(1917)8月で、米価暴騰に遭遇した行政が急遽実施したものです。

大正7年(1918)7月に富山県魚津町で住民が県外移出米を阻止する行動に走ったことを契機にして、米価の引下げ、救済を要求する運動が展開されたことが新聞に報じられると、8月以降は一挙に全国規模の運動に拡大。主に都市部を中心として米屋、富豪に対する襲撃を繰り返す等の暴動となり、30人以上の死者が出ました。

東京も大規模な騒擾に発展しましたが、「府下に於ける米価の暴騰は昨年に比較して尚、異常の価格を呈するに赴き、細民階級の窮状惨憺たるものあり」(「東京府慈善協会報」大正8年7月)とあり、協会は東京府の委託を受け、「市内並びに近在の細民地区10か所に廉価販売所を設け、8月に延べ人員20万2,000人に4,400石の朝鮮米を廉売した」(「震災応急施設一班」東京府社会事業協会、大正13年)とあります。

当時の新聞記事は、「東京府慈善協会では、昨日午後4時から8時まで下谷の萬年小学校、浅草の玉姫小学校、本所の三笠小学校の3箇所で、署長や区長の応援を得て朝鮮米の廉売を開始

した。陰惨な露地から栄養不良の凄い眼が光るあたり、萬年小学校の門の内外には20名の制服私服警官、それに1名の憲兵が加はって警戒のものもしさ、生徒控所に設けられた売場口は係員が机を列べて切符引換に米の代金を受け取り、一升二升三升と柵で計る(一人にて三升以上は買はれぬ)買手は矢張り女が大部分を占め、門前に殺到するやうな勢ひは見せぬにしろ陸続として量り手の息まる暇もなく、午後8時の最終時間までに一升が122人、二升が168人、三升が537人、予定の通り約20石、50俵の米を極めて平穏にさばいた。」(「東京朝日新聞」大正7年8月13日)とあり、大変な混乱の中で行われていたことがわかります。

白米廉価供給所は市内 三小学校を皮切りに、やがて白米ばかりでなく、日用品の廉売へ業種を拡げました。以来、大正8年12月末日に閉鎖するまでの足かけ3年近く、30か所に供給所を聞き、延べ27万9200人に、総額約6,469石の白米を廉売しました。

### 市民生活の困窮緩和を目的に 公設質屋を開設

大正8年(1919)9月、東京府は困窮している庶民の生活の緩和を目的に、「公益質屋」の開設を協会に委任しました。背景には上述の米騒動の



▲政府下米廉売実況

衝撃がありました。その対応策として、東京府は米穀を含む日用品の廉売を皮切りに、「公益的金貸し業」など経済保護事業に取り組み、その動きが、公益質屋開設となりました。

質屋は、庶民にとっては唯一の金融機関(のようなもの)でしたが、諸物価の高騰により私営質屋はさらに高利息での営利追及に走り、窮迫する庶民への救済が急務となり「公益質屋」の事業実施となりました。貸付利率は私営の半分、利息計算は月単位とし、暴利を貪る私営質屋に対抗しました。

大正12年(1923)9月、関東大震災のため、3施設あった公益質屋のうち、下谷質屋は全焼してしまい、残る日暮里及び本所質屋は倉庫のみを残したという惨状でした。

大正13年5月によく復旧して3質屋の事業を再開し、大正13年7月には、更に内務省社会局より公益質業経営助成金の交付を受け、大島、尾久、三河島、和田堀、平塚(のち荏原と改称)、赤羽の6箇所に店舗を増設しました。

この後も公益質屋は増えづけ、昭和20年(1945)の東京大空襲によってほとんどが焼失してしまうまで、多くの庶民に利用されました。



▲公益質舗内光景(受付窓口)



▲赤羽公益質舗

# 協会からのお知らせ



## 1.規則・規程の改正等について

### 1.定款変更.....

区市の事業として行っている「保育所の一時預かり事業」が令和元年度から国制度での実施となり、要件を満たすため一時預かり事業を第2種社会福祉事業とする定款の変更を行いました。(令和2年2月10日付認可)

### 2.「定款細則」の改正及び「文書処理及び公印管理規程」の制定.....

協会役職員の決裁権限等を明確にして、職務執行の適正性を確保し、管理体制の有効性・効率性を高めるため、定款細則を改正するとともに文書処理及び公印管理規程を制定しました。

①定款細則においては、理事会が承認する「理事長専決事項」及び「理事長専決事項の中で施設長が受任する事項」について整理を行いました。

また、理事会または評議員会で、理事または評議員が議案において特別の利害関係を有する場合はあらかじめ申し出なければならない、と規定しました。

②文書処理及び公印管理規程において、理事長専決権の範疇での日常業務における常務理事の決裁権について整理を行いました。また、この文書処理及び公印管理規程の制定に伴い処務規程(昭和58年4月1日)を廃止しました。(令和元年6月28日施行)

### 3.役員・評議員等報酬規程の改正.....

理事長及び常務理事の勤務形態を具体的に表記するため改正を行いました。(令和元年6月28日施行)

また、常務理事の報酬の見直しを行いました。(令和元年10月1日適用)

### 4.職員給与規程の改正.....

ここ数年来施設職員の待遇改善やキャリアパス制度の導入による新たな役職を設けことを踏まえ、これら役職の職位等に応じた統一的な級別基準職位表を整備し給与体系の見直しを行いました。

また、将来的にバランスのよい職員構成を目指すため、前歴換算基準の一部見直しを行いました。

①級別基準職位表により、職位・職責に応じた昇格基準を定めました。

②前歴換算の見直しについて以下により定めました。

②従来の前歴換算においては、他施設の経験年数に上限を設げず10割換算としていたが、若手職員の採用に重点を置くこととするため、12年までの経験を10割とし、以下12年を超える20年まではその7割、20年を超える経験についてはその3割としました。

③資格者の人材確保のため機能訓練指導員、栄養士、調理員について前歴換算率の改善を行いました。(令和2年4月1日施行)

### 5.パワーハラスメント防止規程の制定及びセクシャルハラスメント防止規程・職員就業規則・パートタイマー就業規則の改正.....

労働施策総合推進法の改正により、パワーハラスメント防止が事業主の義務となったことを受け、職員が順守すべき事項及び雇用管理上の措置について定めました。

また、セクシャルハラスメント防止規程については、勤務場所を広範囲に捉えるため、勤務場所の定義の見直しを行いました。職員就業規則及びパートタイマー就業規則については、パワーハラスメント防止規程を新たに服務規律に挿入する改正を行いました。(令和2年4月1日施行)

### 6.八王子隣保館保育園運営規程の改正.....

「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により、令和元年10月1日から保育所、幼稚園等を利用する3歳から5歳児の利用料が無料となりました。これまで保護者は給食費を含む利用(保育)料を各区市に納めていましたが、保育料が無料となったため、八王子市においては、同市による給食費の徴収を取り止め、各園が保護者から給食費を徴収するよう指導がありました。

このため、令和元年10月1日からの給食費の実費徴収に係る八王子隣保館保育園運営規程の改正を行いました。(令和元年10月1日適用)

### 7.高齢者施設の運営規程の改正.....

令和元年度介護報酬改正に伴う高齢者施設の運営規程の料金表等の改正を行いました。(令和元年10月1日適用)

### 8.保育所及び母子生活支援施設待遇改善手当支給要綱の改正.....

令和元年度の保育士等待遇改善加算及び東京都キャリアアップ補助金の増額に伴い、保育所における待遇改善基礎手当額を改正しました。(平成31年4月1日適用)

### 9.高齢者施設等待遇改善手当支給要綱の制定.....

令和元年10月1日から介護報酬に新設された「介護職員等特定待遇改善加算」に基づき、介護職員等の待遇改善を図るために高齢者施設等待遇改善手当支給要綱を制定しました。

特定加算のねらいの一つとして、勤続10年以上の介護職員の年収440万円以上を確保することが挙げられていますが、当協会の現給与制度は既にこれを満たしている状況にあることから、高齢者施設の健全経営のため喫緊の課題である若手職員の人材確保を図ることとしました。このため、基本手当のほかに、概ね30歳までの採用者への優遇策として初任給調整手当を創設しました。(令和元年10月1日適用)

### 10.保育所宿舎貸与事業要綱の制定.....

保育士の働きやすい環境を整備する施策として、国及び自治体により制度化された「保育士宿舎借り上げ支援事業補助金」に基づき、保育所宿舎貸与事業要綱を制定しました。(令和2年4月1日施行)

### 11.サービスセンター長沼運営規程の改正.....

同施設が行っている通所介護・認知症型通所介護について、日曜日営業の取り止め及び営業時間の短縮(1日当たり45分間の短縮)を図るため、当該運営規程を改正しました。(令和2年10月1日適用)

### 12.「保育所及び母子生活支援施設待遇改善手当支給要綱」並びに「高齢者施設等待遇改善手当支給要綱」の改正.....

保育所・母子生活支援施設及び高齢者施設が支給する待遇改善手当について、年度末において受給総額が職員への既支給総額を上回る場合には、理事長が一時金を定めて職員への支給を行うことができるよう「保育所及び母子生活支援施設待遇改善手当支給要綱」並びに「高齢者施設等待遇改善手当支給要綱」を改正しました。(令和2年11月26日施行)

### 13.介護職員等宿舎貸与事業要綱の制定.....

令和2年4月1日より施行している保育士への宿舎貸与と同様に、介護職員等への宿舎貸与を行うため、介護職員等宿舎貸与事業要綱を制定しました。(令和2年12月1日施行)

## 地域包括支援センターの「サロン」をのぞき見しました。

例えば、一人暮らしの高齢者は家に引きこもりがちになります。介護予防・孤立予防・運動不足解消・健康への関心増のため、気軽に楽しく自由に参加でき継続的に集う場を「サロン」と言っています。

「赤羽北高齢者あんしんセンター」(赤羽北地域包括支援センター)が行っている「サロン」の中から2つを紹介します。

一つ目は「芸術サロン」です。これは地域にお住いで普段として活動されている方を招き演奏等を披露していくた

協会には3つの地域包括支援センター(浮間・赤羽北・長沼)があります。地域包括支援センターとは、在宅で支援を必要とする高齢者及びその家族の総合的な相談窓口が主な業務であり、介護、医療、福祉サービスの連携や調整、地域のネットワーク作り等々を行っています。



①「ダミアン原田」「ンサート」、シター(ヨーロッパ伝統楽器)、

大学付属音

キーボード演

奏、国立音楽

中で集まる場

として毎月開催していま

す。参加者の希望で地域の

リクエストに

よる、インフ

ルエンザ、脱

水・熱中症、お

口の元気向

上、塩分糖分、

災害時の非常食、転倒予防、

障害者差別解消法、福祉用具等々のミニ講座及びゲームや体操を行っています。このサロンをきっかけに職員は手話教室に通いました。皆で障害者への理解の輪を広げたいと考えています。

二つ目が「デフ絆の会(ろう

者サロン)」、今年で10年目

となり、ろうあの方の強い

希望で地域の中

で集まる場

として毎月開催していま

す。参加者の希望で地域の

リクエストに

よる、インフ

ルエンザ、脱

水・熱中症、お

口の元気向

上、塩分糖分、

災害時の非常食、転倒予防、

障害者差別解消法、福祉用具等々のミニ講座及びゲームや体操を行っています。このサロンをきっかけに職員は手話教室に通いました。皆で障害者への理解の輪を広げたいと考えています。

梅原さんは昭和63年4月に新規学卒採用され、尾久隣保館保育園保育士に配属、平成21年4月に主任保育

士に昇任、平成23年4月に王子隣保館保育園、平成29年4月に赤羽北のぞみ保育園に異動、令和2年4月から

園長に就任されて、園児・職員から大変慕われながら園の運営に努めていらっしゃいました。勤続32年で、

多くの職員との交わりもあり、皆さん涙をたくさん流されたことと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

いただきました。

等を行つて



②「山口晶子おはなし会」、元劇団前進座に所属し、女優有馬稻子氏・高橋恵子氏らの付き人を経験、

近年は上野

広小路亭等

に出演、「語

り」を中心

活動中の方

で、詩の朗読

等を行つて



訃報

赤羽北のぞみ保育園

梅原 淳子 園長



赤羽北のぞみ保育園 梅原淳子園長が、令和2年12月18日(金)正午ごろ脳内出血のため急逝されました。55歳の若さでした。当日は「少しハナミズが出るので受診して午後から出勤する」と連絡を受けていましたが、午後になってしまっても出勤して来ないため電話連絡をしたところ応答がなく、その後自宅で倒れているところを発見され、そのまま帰らぬ人となってしまいました。職員はみな大変なショックとともに、大きな悲しみで打ちひしがれました。

梅原さんは昭和63年4月に新規学卒採用され、尾久隣保館保育園保育士に配属、平成21年4月に主任保育士に昇任、平成23年4月に王子隣保館保育園、平成29年4月に赤羽北のぞみ保育園に異動、令和2年4月から園長に就任されて、園児・職員から大変慕われながら園の運営に努めていらっしゃいました。勤続32年で、多くの職員との交わりもあり、皆さん涙をたくさん流されたことと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。



## 社会福祉法人 東京都福祉事業協会

### 協会施設の一覧

#### 保育園

王子隣保館保育園 方南隣保館保育園 尾久隣保館保育園 八王子隣保館保育園 汐入とちのき保育園  
上十条南保育園 赤羽北のぞみ保育園

#### 母子生活支援施設

ハイツ尾竹 浮間ハイマート 板橋区立母子生活支援施設

#### 高齢者福祉施設等

長寿園	特別養護老人ホーム
赤羽北さくら荘	特別養護老人ホーム、デイサービス、地域包括支援センター、訪問介護、居宅介護支援等
東日暮里サービスセンター	デイサービス、学童クラブ
サービスセンター長沼	デイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援

ひだまり  (Vol.03)

■発行日 2021年02月

■発行 社会福祉法人 東京都福祉事業協会 〒114-0002 東京都北区王子2-19-21 TEL 03-3911-3679 FAX 03-3911-6498